

THE NEW VALUE FRONTIER

Ver.2.0



EMINEO

術式マニュアル



京セラメディカル株式会社



術式マニュアル

1. 外科術式 P.1～4

2. 補綴処置 (印象・模型作製) P.4～5

3. 補綴処置 (プロビジョナル) P.6

4. 補綴処置 (アバットメント) P.7～8

5. ドリルシーケンス P.9

注意

- 院内感染や医療機器の劣化等による予期せぬ事故の発生する恐れがあるため、単回使用の医療機器を、繰り返し使用するなど、複数回使用しないでください。
- インプラント体の開封前に、外観確認を行いパッケージの損傷が確認された場合はそのインプラント体を使用しないでください。
- 汚染防止のため、ケースの開封は、使用直前に行うようにしてください。
- ケースの開封後、製品が汚染しないように注意すること。汚染された恐れのある場合は、使用しないでください。
- 製品の強度が低下し、術後に破損する恐れがあるため、インプラントを変形させたり切削したりするなどの改造は行わないでください。
- 外箱に表示された製品の滅菌有効期限を過ぎていないことを確認してください。
- 製品の貯蔵・保管方法は高温、多湿、直射日光を避けてください。

承認、届出番号・販売名

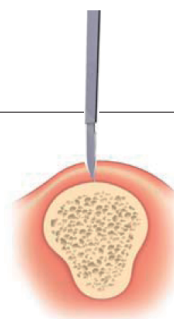
22500BZX00480000	EMINEOフィクスチャー
22500BZX00481000	EMINEOシステムアクセサリ
27B1X00047102110	EMINEO技工用器具
27B1X00047102111	EMINEO用印象採得器具
27B1X00047101121	EMINEOインプラント用手術器具

「EMINEO」は京セラメディカル株式会社の登録商標です。

外科術式

1 切開

- 歯槽骨の頬側寄りに、軟組織を切開します。



2 スターティングポイントのマーキング

- ポイントドリルを使用して、埋入する位置の皮質骨にマーキングします。
<推奨回転数:1,200~1,500 rpm>



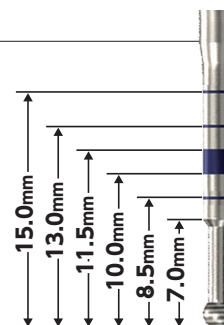
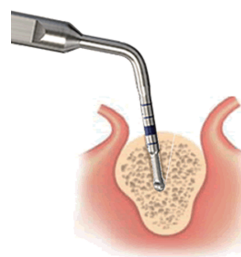
3 パイロットドリル

- パイロットドリルを使用して窩洞形成します。
<推奨回転数:1,200~1,500 rpm>



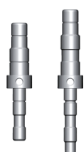
4 デプスゲージ

- パイロットドリルを使用して窩洞形成された部位の深さを確認します。



5 ディレクションインディケーター

- ディレクションインディケーターをドリリングされた部位に挿入し、角度や位置、咬合関係を確認します。



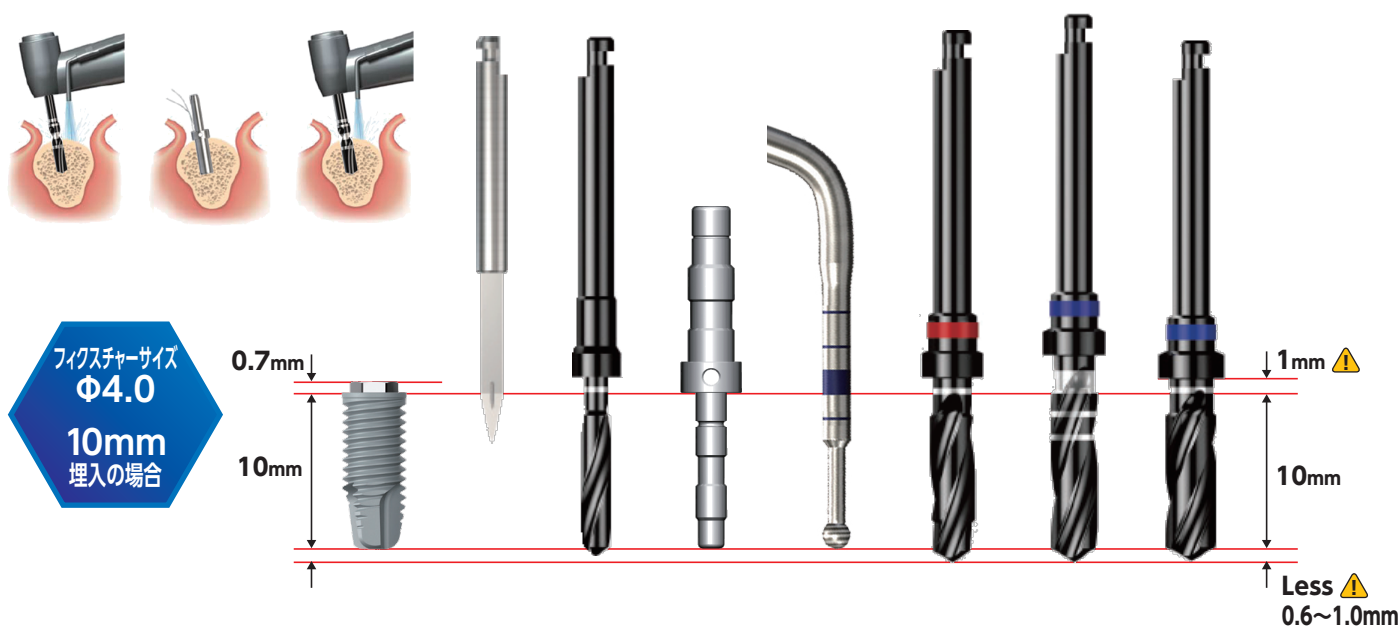
- ※ オプション (リンデマンドリル)
・方向修正、抜歯及び骨の隆起部を切削する場合に使用。



6 ステップドリル、ツイストドリル

- 骨密度に応じて適切なドリルを段階的に使用します。
＜推奨回転数:1,000～1,200rpm＞

※その他のフィクスチャーサイズについては、
ドリリングスケジュールチャートを参照ください。



7 カウンターボアドリル

- 骨密度と皮質骨の厚さに応じて、カウンターボアドリルを使用します。
＜推奨回転数:500～800rpm＞



8 スクリュータップドリル

- 骨質の硬い場合、インプラント埋入の抵抗を低減するためにスクリュー
タップドリルを使用します。
＜推奨回転数:低速(20～40rpm)＞

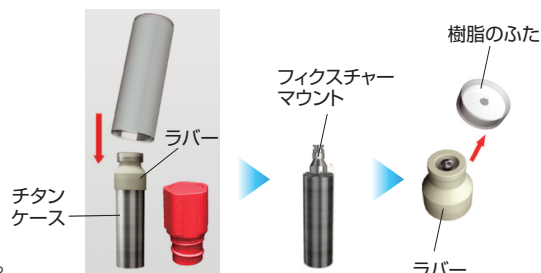


※ パッケージ

- ・フィクスチャー容器は滅菌され、一重包装になっています。
- ・付属されているラベルは、カルテに直接貼り付けることができます。
- ・ラベルにはフィクスチャーの直径と長さが表示されています。

※ フィクスチャーとカバーキャップ(カバースクリュー)の取り出し

- ・蓋を開けて滅菌済トレイの上にチタンケースを慎重に置きます。
- ・チタンケースにはフィクスチャーの直径と長さが表記されています。
- ・ラバーを取り外すとフィクスチャーが取り出せます。
- ・樹脂のふたを取り出すとカバーキャップ(カバースクリュー)が取り出せます。



9 フィクスチャーの埋入

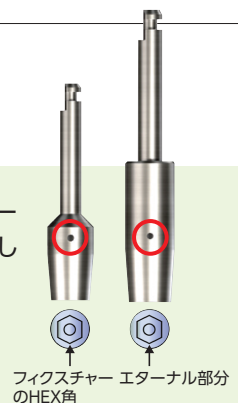
- HPマウントドライバーでフィクスチャーマウントを把持し埋入します。
＜推奨回転数:低速(20～40rpm)＞



**フィクスチャー
埋入トルク
45N・cm以下**

参考

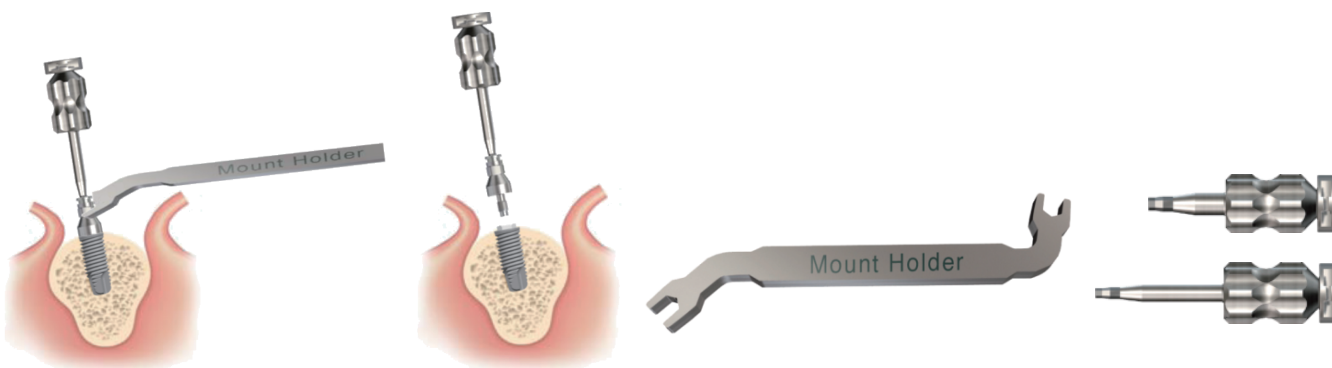
HPマウントドライバー
の目印がHEX角を指し
示します。



フィクスチャー エターナル部分
のHEX角

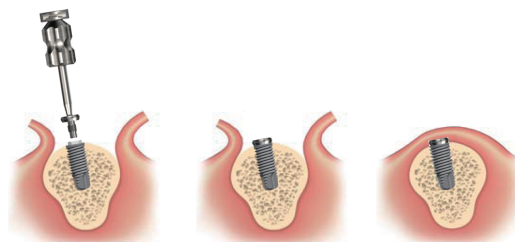
10 フィクスチャーマウントの取り外し

- マウントホルダーでフィクスチャーマウントのボディ部を固定し、HEXドライバーにてマウントスクリューをゆるめ、フィクスチャーからマウントを取り外します。



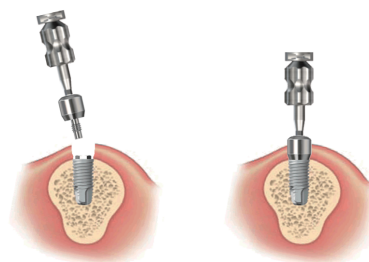
11 カバーキャップ(カバースクリュー)の装着および縫合

- カバーキャップ(カバースクリュー)の装着は、カバースクリュードライバを用いて締結します。(10N・cm)
- カバーキャップ(カバースクリュー)装着後、歯肉を縫合します。



12 ヒーリングアバットメントの装着

- カバーキャップを除去した後、フィクスチャー内部を洗浄し、粒子成分を含まない抗菌性の軟膏(テラコートリル軟膏など)を注入し、ヒーリングアバットメントをHEXドライバーを用いて注意深く口腔内に運び、閉め込みを行います。(10N・cm)
- 二次手術では、ヒーリングアバットメントやテンポラリーアバットメントを装着後、歯肉を縫合します。

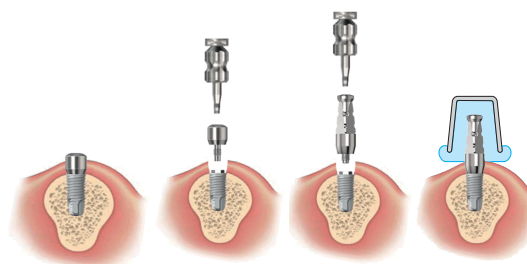


補綴処置(印象・模型作製)

1 間接印象(クローズドトレイ法)

Step1

- 免荷期間・歯槽粘膜の治癒を終えた後、HEXドライバーを用いてインプレッションポストを装着します。
- シリコン系印象材を用いて印象採得を行います。



重要

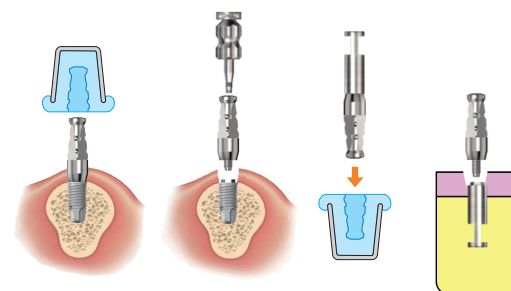
デンタルX線写真でインプレッションポストが適切に装着されていることを確認してください。

参考

インプレッションポストガイドピンの上にある六角穴をブロックアウトします。

Step2

- HEXドライバーを用いて、口腔内よりインプレッションポストを取り外します。次に対応するアナログを装着して印象面に戻します。
- アナログを組み付けたインプレッションポストを印象内に戻してから石膏を流入し、アナログ模型を製作します。



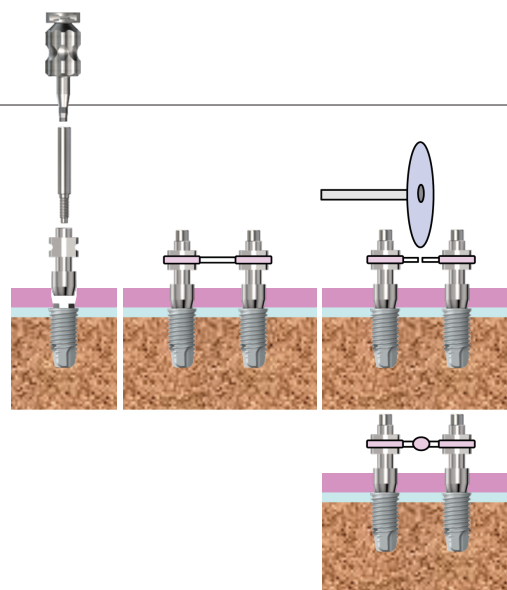
重要

- 作業用模型のトリミングを行う際、石膏泥がアナログ内に残らないように十分に清掃してください。

2 間接印象(オープントレー法)

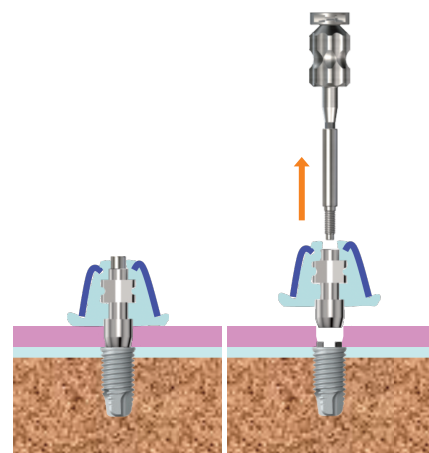
Step1

- 免荷期間・歯槽粘膜の治癒を終えた後、HEXドライバーを用いてトランスファーコーピングを装着します。
- トランスファーコーピングを装着し、パターンレジンによりプラスチックバーで強固に連結します。
- レジン重合後、連結部の中央をディスクで切断します。
- 粘膜組織や夾雑物が入り込まないように注意しながら、トランスファーコーピングを模型上と同じ部位／方向に口腔内で装着し、パターンレジンを少量ずつ追加して連結します。



Step2

- 最終印象を採得します。この際、各個トレーの操作孔から溢れた印象材は必ず硬化前に拭き取ります。
- 印象材が硬化したら、すべてのトランスファーコーピングガイドピンを緩め、歯列より印象を取り外します。



重要

デンタルX線写真でトランスファーコーピングが適切に装着されていることを確認してください。

Step3

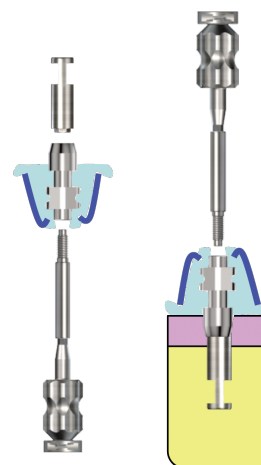
- アナログを印象内のトランスファーコーピングに適合させて スクリューを固定します。
- アナログの装着を終えた後、印象面に石膏を流し込みアナログ模型を製作します。

注意

トランスファーコーピングガイドピンが咬み込んだ状態で印象を取り外した場合、印象材の変形が生じます。

重要

- 印象採得した後、印象面を精査し、トランスファーコーピングの嵌合面に印象材の侵入がないことを確認してください。この時点で不具合が見られる場合は再度、印象採得の必要があります。
- 作業用模型のトリミングを行う際、石膏泥がアナログ内に残らないように十分に清掃してください。



補綴処置（プロビジョナル）

1 プロビジョナルクラウンの作製

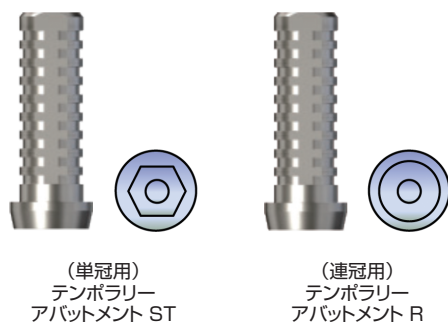
より自然なエマージェンスプロファイルを獲得するために、プロビジョナルレストレーションを行うことをおすすめします。植立されたフィクスチャーの直径にあわせたテンポラリーアバットメントを選択します。アナログ模型にテンポラリーアバットメントを装着し、プロビジョナルクラウンを作製します。テンポラリーアバットメントの咬合面にはアクセスホールが開孔するため、口腔内ではストップングなどで仮封します。

- テンポラリーアバットメントの調整
- アナログ模型に調整したテンポラリーアバットメントを装着

参考

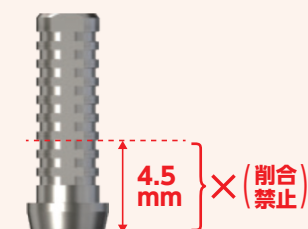
テンポラリーアバットメントの選択

単冠症例にはテンポラリーアバットメント ST(単冠用)を使用します。連結症例において平行性が確保できない場合には、テンポラリーアバットメント R(連冠用)を使用します。

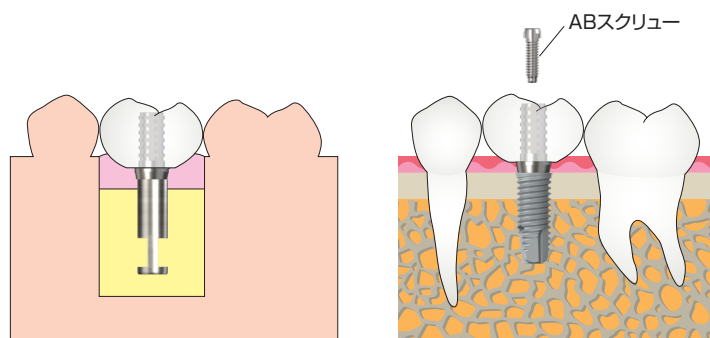


注意

接合面から 4.5mm の部分は、
削合禁止です。
(ST・R 両方)

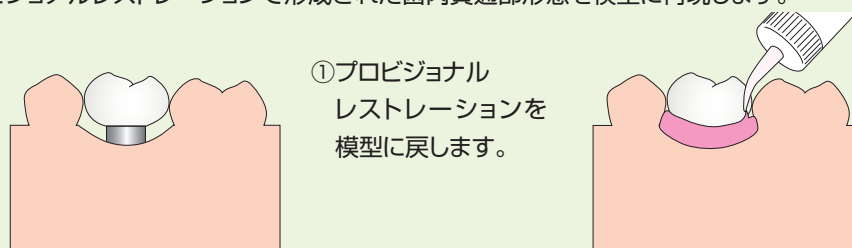


- プロビジョナルクラウンの作製
- プロビジョナルクラウンの装着



参考

プロビジョナルレストレーションで形成された歯肉貫通部形態を模型に再現します。



補綴処置 (アバットメント)

1 最終補綴装置の作製・装着

1. 最終補綴装置の種類 (研削・削合可能なアバットメント)

ポストアバットメント (26種)

アングルアバットメント (12種)

カントゥアアバットメント (16種)



研削可



削合可



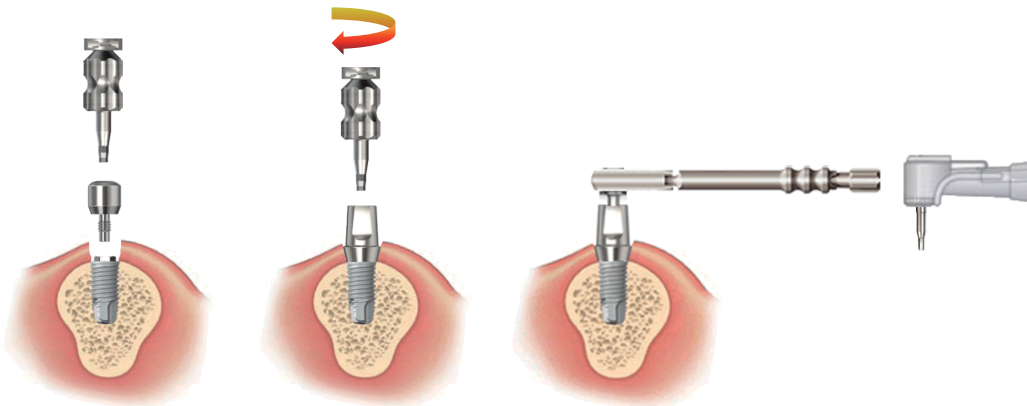
削合可

1-1. アバットメントの装着 (研削・削合しない場合)

- HEXドライバーを用いてヒーリングアバットメントを除去します。
- フィクスチャーに適切に適合されていることを確認し、アバットメントを装着します。
- HEXドライバーを用いてABスクリューを時計方向に閉め込み、仮締めを行います。
- 必ず、マイクロモーターやトルクレンチを用い、下記トルク設定で最終締め込みを行います。

重要

アバットメントとABスクリューは装着前に必ず滅菌してください。

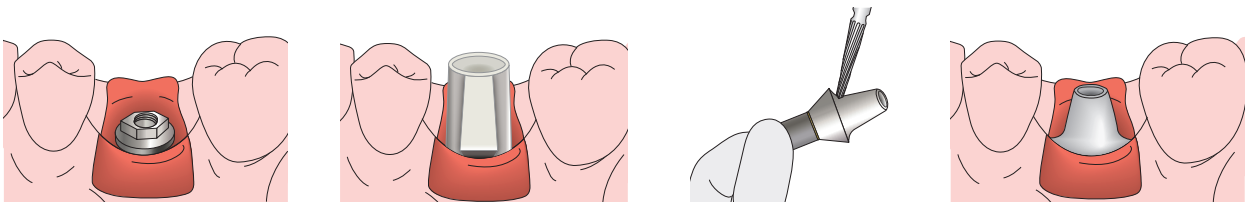


ABスクリューの
締め付けトルク
NP :25N・cm
RP :35N・cm
WP :35N・cm

1-2. アバットメントを削合する場合

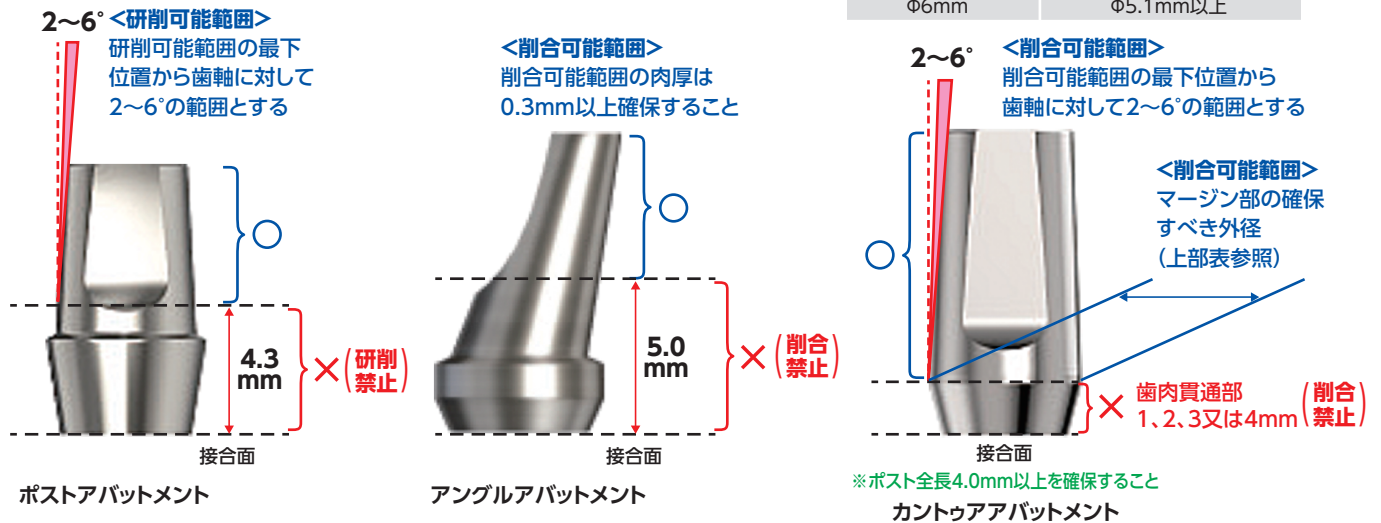
◆ アバットメント製作

- 通法通りアナログ模型を作製します。
- ラボスクリューを用いてアバットメントをアナログ模型に接続し、削合範囲を決定します。
- ディスクを用いて、適切な高さにポスト部を切断し (※次項参照)、チタン用切削バーを用いて記したラインに沿って切削します。その際は対合歯とのクリアランスならびに隣接歯の位置関係に配慮してください。



1-3. アバットメントの研削・削合時の注意点

◆ アバットメントの研削・削合可能範囲など



注意

※アバットメント加工の際は、支台として適切な強度・形態を保つよう、以下の点にご注意ください。

- ①添付文書に記載されている切削・削合範囲に従い、加工してください。
- ②ABスクリューをアクセスホールから露出させないでください。
- ③辺縁部を仕上げる際は、先端がR0.2mm以上のバーを使用してください。

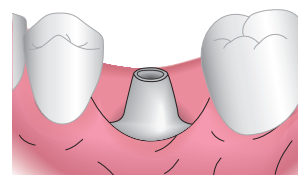
1-4. アバットメントの切削・削合後の装着

◆ アバットメントの装着

- 同梱されているABスクリューを用いて、加工されたアバットメントを右記トルクにて口腔内に装着します。

重要

アバットメントとABスクリューは装着前に必ず滅菌してください。



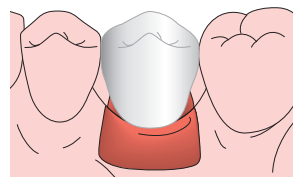
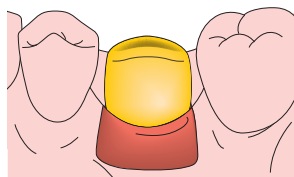
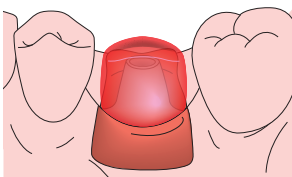
ABスクリューの
締め付けトルク
NP :25N・cm
RP :35N・cm
WP :35N・cm

1-5. 最終補綴物の作製

◆ 最終補綴物の作製

- 最終形態にワックスアップ、鋳造を行い、メタルフレームを作製します。
- 最終上部構造を口腔内にセメントを用いてセットします。

※メンテナンスを考慮して、仮着セメントの使用を推奨。

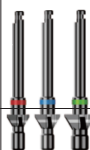


参考

フルベイクタイプの最終上部構造にする場合には、まず理想的なフルカントゥアワックスアップを作製して、シリコンコアにより印象採得を行い、クリアランスを確認しながらフレームを形成します。

ドリルシーケンス

※右記のシーケンスは、
埋入長11.5mm

Fixture	Bone Quality	ポイント ドリル	パイロット ドリル EM20- 11.5	STEP ドリル EM24/ 28- 11.5	ツイスト ドリル EM30- 11.5	ツイスト ドリル EM33- 11.5	ツイスト ドリル EM36- 11.5	STEP ドリル EM38/ 44- 11.5	ツイスト ドリル EM46- 11.5	STEP ドリル EM48/ 55-11.5	カウンター ボア EM33・ 40・50	スクリュー タップ EM33・375・ 40・50・60
												
3.3	SOFT	●	●									
	MEDIUM	●	●	●							●	
	DENSE	●	●	●							●	●
3.75	SOFT	●	●	●								
	MEDIUM	●	●	●	●						●	
	DENSE	●	●	●	●						●	●
4.0	SOFT	●	●	●	●							
	MEDIUM	●	●	●	●	●					●	
	DENSE	●	●	●	●	●					●	●
5.0	SOFT	●	●	●		●	●					
	MEDIUM	●	●	●		●	●	●			●	
	DENSE	●	●	●		●	●	●			●	●
6.0	SOFT	●	●	●		●	●	●	●			
	MEDIUM	●	●	●		●	●	●	●	●		
	DENSE	●	●	●		●	●	●	●	●		●

● Optional



京セラメディカル株式会社

大阪市淀川区宮原3丁目3-31(上村ニッセイビル) 〒532-0003

<http://kyocera-md.jp/>



商品に関するお問い合わせは下記の事業所・営業所まで

東京事業所 東京都新宿区西新宿2丁目4-1(新宿NSビル10F) 〒163-0810 Tel:03-5339-3627 Fax:03-3343-3096

札幌営業所	札幌市中央区北一条西3丁目3(札幌MNビル9F) 〒060-0001	Tel:011-555-3288	Fax:011-281-6525
名古屋営業所	名古屋市東区葵3丁目15-31(住友生命千種ニュータワービル6F) 〒461-0004	Tel:052-930-1480	Fax:052-938-1388
大阪営業所	大阪市淀川区宮原3丁目3-31(上村ニッセイビル8F) 〒532-0003	Tel:06-6350-1007	Fax:06-6350-1038
岡山営業所	岡山市北区磨屋町10-16(あいおいニッセイ同和損保岡山ビル4F) 〒700-0826	Tel:086-803-3625	Fax:086-225-2289
九州営業所	福岡市博多区博多駅東2丁目10-35(博多プライムイースト7F) 〒812-0013	Tel:092-452-8148	Fax:092-452-8177



※このカタログは環境にやさしい植物油インキを使用しています。
■禁無断転載、複写